

横浜みなと博物館開館30周年記念企画展「オドロキ！日本・海の環境と開発～海といつまでも」関連事業 海のプロフェッショナルのミニトーク 講師一覧

日にち	曜	時間	所属	職名	講師氏名	プロフィール	テーマ
8月6日	火	11:00～12:00	公益財団法人帆船日本丸記念財団	指導部 二等航海士	片山 湧造(かたやま ゆうぞう)	2013年に独立行政法人航海訓練所(現 海技教育機構)に入所しました。同所練習船の、二代目日本丸(帆船)、二代目海王丸(帆船)、青雲丸(汽船)、銀河丸(汽船)の三等航海士、二等航海士を経て、2018年10月より初代日本丸二等航海士に着任しました。	航海士になるまで(実際の訓練の様子)
8月6日	火	13:30～14:30	公益財団法人帆船日本丸記念財団	指導部 一等航海士	田中 識啓(たなか のりひろ)	2009年に独立行政法人航海訓練所(現海技教育機構)に入所しました。同所の練習船である、二代目日本丸、二代目海王丸、青雲丸、大成丸、銀河丸の三等航海士、二等航海士を経て、2019年初代日本丸一等航海士に着任。2014年から2015年にかけて1年間富山の初代海王丸(日本丸の姉妹船)二等航海士も経験しました。	日本丸の当時の航海と現代の船について
8月7日	水	11:00～12:00	横浜市温暖化対策統括本部	横浜ブルーカーボン担当	村井 豪太(むらいごうた)	2003年土木工学専攻修了。民間企業での勤務を経て、2010年に横浜市入庁。2018年より横浜ブルーカーボン事業の業務に携わっています。	ブルーカーボンってなに？
8月7日		13:30～14:30	日本郵船株式会社	二等航海士	益田 耕司(ますだこうじ)	2014年に入社し、2019年までLNG船、コンテナ船、重量物船などに乗船し、世界の海を航海してきました。2019年6月より人事グループ着任し、陸上勤務を経験しています。	外航船の航海士の仕事
8月8日	木	11:00～12:00	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	共有船舶建造支援部 課長	峰本 健正(みねもと たけまさ)	横浜国立大学卒。1991年4月に運輸省(現国土交通省)に入省しました。その後、海上保安庁、科学技術庁(現文部科学省)、外務省、国土交通省等で勤務し、2017年4月に国土交通省海事局 船舶産業課 舟艇室長、今年4月から独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備機構 共有船舶建造支援部に技術企画課長として勤務しています。	国内クルーズ船に乗ろう！
8月8日		13:30～14:30	横浜丸魚株式会社	マーケティング部 次長	齋藤 融(さいとうとる)	1992年に入社しました。水産マーケティングに携わり、横浜市場のプロモーション事業に参画しています。おさかマイスター、お魚かたりべ(水産庁長官任命)小学校での魚食出前授業や、未利用魚の商品開発を手掛けています。放送大学、北里大学非常勤講師。	海の豊かさを守ろう！「魚は、好きですか？神奈川のお魚の話」
8月9日	金	13:30～14:30	株式会社商船三井	一等航海士	宮田 竜二(みやた りゅうじ)	2014年に株式会社商船三井に入社。生活に必要な都市ガスや石油などを運ぶタンカー、自動車を専用運ぶPCC等の航海士として世界中を航海しています。	海運の大切さ・船乗りの魅力
8月10日	土	13:30～14:30	国立研究開発法人海上技術安全研究所	研究員	稲葉 祥梧(いなば しょうご)	横浜生まれ、横浜育ち。横浜市歌も知っています。2015年東京大学大学院海洋技術環境学専攻卒業。同年に海上技術安全研究所に就職しました。学生時代より今に至るまで水中ロボットの開発や運用に携わっています。2017年より、海底地形調査の国際大会「Shell Ocean Discovery XPRIZE」に挑戦する日本の「Team KUROSHIO」に参加。大会では準優勝の成績を収めました。	私が水中ロボットを仕事にするまで
8月14日	水	13:30～14:30	横浜市環境科学研究所	調査研究担当	潮田 健太郎(うしおだ けんたろう)、浦垣 直子(うらがき なおこ)	(潮田)日本大学理工学部物質応用化学科を卒業、2016年に横浜市に入庁しました。(浦垣)東海大学海洋学部海洋科学科を卒業し、2010年に横浜市入庁しました。横浜市環境科学研究所では横浜の海の環境について調査研究するとともに、講演やイベントなどで子どもたちに環境を守る大切さを伝えています。	～横浜の海を知ろう、海を身近に感じよう～
8月15日	木	13:30～14:30	海洋プランニング株式会社	調査員	石川 竜子(いしかわ りょうこ)	北海道大学大学院水産科学研究科 修士課程を卒業。2001年、新潟県に入庁。新潟県水産海洋研究所(いわゆる水産試験場)等に勤務し、海藻など水生生物の増養殖の研究に従事しました。2012年、海洋プランニング株式会社に入社。東京湾や北陸の海の環境調査等に取り組んでいます。	汽船道でのアマモを植える取組について ～きれいな海・たくさん生き物が暮らせる環境を目指して～
8月16日	金	13:30～14:30	海上保安庁海洋情報部	環境調査官	中村 梓(なかむら あずさ)	東京海洋大学海洋科学部海洋環境学科を2018年3月に卒業。大学時代は、海の底に沈むごみについて調査・研究を行っていました。2018年4月に海上保安庁海洋情報部に入庁。1年目から東京湾再生の担当として、現在まで関係省庁、地方公共団体や一般の方々と一緒に東京湾再生に取り組んでいます。	身近な海(東京湾)の環境保全について